

レジメン番号	0003	レジメン名	R±CHOP-14
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、 エンドキサン、ドキシソルビシン、 オンコビン、プレドニゾロン
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	14 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	患者投与量	投与方法	Day-1 (/)	Day0 (/)	Day1 (/)	…14	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m ²	mg	点滴	↓			コース day13 or day14 に 投与	
エンドキサン(CPA) 750mg/m ²	mg	点滴			↓	2 週間を 1 コース	↓
ドキシソルビシン(DXR) 50mg/m ²	mg	点滴			↓		↓
オンコビン(VCR) 1.4mg/m ² (最大 2mg/body)	mg	静注			↓		↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body または 50mg/m ²	mg	経口			D1~5		D1~5

(支持療法)

※1 Day-1 経口剤あり

A) パロノセトロン(0.75mg) B) グラニセトロン (1mg)		点滴			↑		↑
--	---	----	--	--	---	--	---

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg	初回：1mg/mL に希釈 2 回目～：1~4mg/ml に希釈	
②エンドキサン	100mg	生食 250ml	60 分/点滴
	500mg		
③ドキシソルビシン	10mg	生食 100ml	15 分/点滴
	50mg		
④オンコビン	1mg	生食 50ml	5 分/点滴
⑤ パロノセトロン または グラニセトロン	0.75mg	生食 100ml	15 分/点滴
	1mg		

【day-1】

投与間隔>> ※3 (メインルート/
持続)

投与順番>> ⑧ → ① → 終了

【day1】

投与間隔>> ※3 (メインルート/
持続) (側管 15 分) (側管 5 分) (側管 15 分) (側管 60
分)

投与順番>> ⑦ → ⑤ → ④ → ③ → ② → 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、
注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(2)を選択不可)

(1) 初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、
最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2) 臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が
5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

※3 メインルート：⑧5%ブドウ糖 500 mL ⑦KN3 号 500mL+メイロン 20mL (2A)